

困っている人の 助けになりたい

ユースストアに勤務し38歳で店長になるも、直後ユニーに吸収合併され降格し他店の副店長となりました。異動や過労、上司のパワハラが重なり勤務中に急性心筋梗塞で倒れ、生死の境をさまよいました。職場復帰したものの障がいが残る退職せざるを得ませんでした。

身障者手帳や障がい者年金は自力でなんとか取得しましたが、福祉制度と手続きは誰も教えてくれませんでした。「これは、障がいをもつ者が皆通る苦難なのか。こんな行政はおかしい。自分が困っている人の助けになりたい」と思うようになりました。

そんなおり日本共産党の懇談会の誘いを受け、話を重ねていく中で「困った人を助ける」党の思想は私の考え方と同じだと思い、社会の矛盾をどうすれば改善できるのか考え、この党で学習し活動していくことが、正しい道だと確信し入党しました。

日本共産党

愛西市議会 補欠選挙

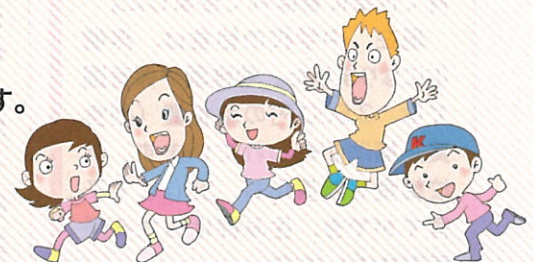


ふるかわ ともやす 智康

経歴 1968年 三重県志摩市で生まれ、勝幡小、佐織中学校（柔道部）、津島高校（柔道部）、静岡大学人文学部社会学科（音楽サークル）
1991年 スーパー「ユースストア」入社 2007年 浜北於呂店長 2012年 急性心筋梗塞（身体障害者手帳取得）2014年 ユニー退社
2014年 東八幡団地自治会長 2020年 日本共産党入党 現在 就労継続支援A型事業所、愛西市消防団（佐織第1分団）

道の駅に50億ではなく「福祉・防災・子育て」の充実を

- 子どもは地域の宝です。地域に学校を残します。
- 福祉の窓口は親身に相談にのり、住民の不安を取りのぞきます。
- 公共施設は災害時にも活用できるように整備します。
- 消防団は町の頼れるガードマン。報酬も出動時の費用弁償も厚くします。
- 子どもが元気なら親も元気！
モリモリ給食を食べて健康に。小学校も中学校も学校給食は無償化に。
- この地域の歴史・文化をしっかり継承します。
- 障がい者・高齢者の防災に力をそそぎます。
- 道の駅等の整備より、佐屋駅・日比野駅・永和駅整備を優先します。



子どもの医療費 18 歳まで完全無料 医療費無料化拡大を市民とともにリード

日本共産党市議団は、平成 19 年から子どもの医療費拡大に市民とともに運動に取り組み 17,000 筆余署名集め、拡大を実現しました。18 歳までの拡大では、これまで反対してきた議員も市へ要請するまでに。市民の要望を率先して取り上げ実現してきました。

巡回バスを津島市民病院まで延長

「海南病院、津島市民病院まで巡回バスで行きたい」との市民の声を聞き、市に提案。2016年に海南病院直通バス、2021年に佐織ルートで津島市民病院に繋がりました。さらに佐織庁舎ー津島市民病院ー愛西市役所ー海南病院へのルート実現を目指します。

小中学校の普通教室にエアコン設置、トイレ改修

児童生徒や保護者の声を聞き、市に提案し全ての普通教室にエアコン設置が実現しました。また、全ての学校に洋式トイレの設置を求め、改修が進みました。

特定健康診査の無料化実現

費用を気にせず自分の健康状態を知ることができるようになりました。

震災時の危険を防ぐ

災害時に安全に避難できるように倒壊の危険があるブロック塀や住宅（耐震改修目的）の撤去に補助を提案し、実現しました。

- 発達支援センター設置
- 期日前投票所（佐織地区）の復活
- 高齢者福祉タクシー券の全ての 80 歳以上を対象に
- 防犯灯の LED 化で地元負担の軽減に
- 立田八開の学校統廃合の見直し

共産党議員が
3 人に増えれば、

もっと
お役に立ちます



愛西市議会議員

河合かっぺい



愛西市議会議員

まの和久

3 議席の力で市政を動かす

学校給食は無料に

憲法では、義務教育を無償としていますが、学校給食費は、子育て世帯の大きな負担となっています。愛西市では、国のコロナ対策交付金で学校給食が延べ 18 ヶ月無償化され、子育て世帯に喜ばれてきました。

現在、中学校の給食は、無償化になりました。幼稚園や保育園では、3,500 円の給食費（副食費）補助が行われています。学校給食も無償化し、安心して子育てができ、住み続けられる愛西市をめざします。

命を守る防災対策をすすめます

ゲリラ豪雨による災害が増えています。愛西市は永和学区を中心に多くの地域が 0 メートル以下であり、大きな浸水被害が想定されます。直ちに避難できる高台の整備を求めます。

屋外型の防災無線放送は聞こえないという声が多く、佐織地区で好評だった防災無線受信機を改めて各家庭に設置します。

古くて危ない校舎体育館改善を早く

老朽化検討委員会の報告では、「改築計画の策定が、佐屋小・立田南部小・立田北部小・佐屋中・立田中の 5 校、改築あるいは改修計画の策定が、永和小・北河田小・勝幡小・永和中の 4 校」と、多くの学校で改築改修が必要になっています。特に永和中の体育館の雨漏りがひどく、卒業式には、傘を持って入場するよう案内があるほど老朽化しています。日本共産党は早急に優先的に老朽校舎の対応策を具体化するように求めています。



雨漏りにより浸水した教室とロビー